

Press Release

【2025 年 9 月 26 日】

送付枚数 本票含め 4 枚



〒753-8511 山口市吉田1677-1
TEL : 083-933-5007
FAX : 083-933-5013
E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

報道機関 各位

山口大学細胞デザイン医科学研究所シンポジウム 「医学と獣医学の融合が拓く、ヒトと動物の健康」を開催

山口大学は、強みである革新的細胞デザイン技術を核として、人や動物の次世代の革新的医療技術シーズを次々と創出する国際研究開発拠点となるべく、2023 年 10 月に細胞デザイン医科学研究所を設立しました。特に犬や猫などの伴侶動物に対するがん抗体薬の獣医師主導臨床試験について豊富な実績を持ち、動物薬の開発を先導しています。

この度、細胞デザイン医科学研究所は、山口地域で生まれつつある世界最先端の研究について市民の皆様や、企業、研究機関等へ広く知っていただき、研究開発をさらに推進することで、健康な未来の実現を図るため、下記の通りシンポジウムを開催いたします。

本シンポジウムでは獣医学分野を基盤とした研究を中心にアカデミアや産業界の立場でご活躍されている方から、最先端の獣医療研究開発動向についてご講演いただきます。

医学と獣医学の融合によりどのように医療イノベーションを創造するのか、ヒトと動物の健康をどう実現するのかをテーマに掲げ、産学公連携により切り拓く未来医療を実現するための方策を探ります。

つきましては、広くご周知いただきますとともに、取材及び報道等についてご高配賜りますようお願い申し上げます。

なお、当日の取材をご希望の方は、別紙「取材申込書」にて、9 月 30 日（火）までにお申し込みください。

記

1. 日 時：令和 7 年 10 月 3 日（金） 14:00～18:30
2. 場 所：かめ福オンプレイス（山口市湯田温泉 4 丁目 5-2）
及びオンライン開催（Zoom ウェビナーによるハイブリッド方式で行います）
3. 参 加 費：無料
4. プログラム：別紙参照
5. 主 催：山口大学細胞デザイン医科学研究所、山口大学
6. 後 援：山口県、山口市
7. 対 象 者：一般市民・学生・企業

●この件に関する詳細は下記までお問い合わせください
国立大学法人山口大学学術研究部
ライフサイエンス支援課研究所係
担当：中野 亮
〒755-8505 宇部市南小串 1-1-1
TEL : 0836-85-3065
FAX : 0836-22-2116
E-mail : sh088@yamaguchi-u.ac.jp

発信者 国立大学法人山口大学総務企画部
総務課広報室

〒753-8511 山口市吉田 1677-1
TEL : 083-933-5007
FAX : 083-933-5013
E-mail : sh011@yamaguchi-u.ac.jp

◆取材申込書◆

【送付状不要】

山口大学学術研究部
ライフサイエンス支援課研究所係 行
FAX : 0836-22-2116
E-mail : sh088@yamaguchi-u.ac.jp

**山口大学細胞デザイン医科学研究所シンポジウム
「医学と獣医学の融合が拓く、ヒトと動物の健康」を開催**

日時 : 令和 7 年 10 月 3 日 (金)
14 時 00 分～18 時 30 分
場所 : かめ福オンプレイス (山口市湯田温泉 4 丁目 5-2)

誠に恐れ入りますが、下記にご記入いただき、9 月 30 日 (火) までにご連絡願います。

記

貴社名	
ご取材代表者氏名	
ご参加人数	
ご連絡先 (Tel、E-mail 等)	

細胞デザイン医科学研究所シンポジウム

医学と獣医学の融合が拓く、 ヒトと動物の健康

日時

2025年 **10月3日(金)**
14:00～18:30 (13:30 受付開始)

医学と獣医学の橋渡しによる
未来医療の創造

医学と獣医学の融合は、ヒトと動物の健康をどう変えるのか？
未来医療創造の可能性を、第一線の研究者たちが熱く語ります。ヒトと動物の健康長寿社会を目指して、未来医療を創造する挑戦の最前線と、その展望に迫ります。

場所

ハイブリッド配信あり／
かめ福オンライン

山口市湯田温泉 4丁目 5-2

タイムスケジュール

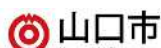
- 13:30 開場・受付
- 14:00 開会挨拶 (谷澤幸生、玉田耕治)
- 14:10 シンポジウムの趣旨と部門の取組み紹介 (水野拓也)
- 14:30 招待講演①：ヒトとイヌのつながりのサイエンス (菊水健史)
- 15:10 招待講演②：ゲノム編集による「マウス」を使った「イヌ」の遺伝学的研究 (宮脇慎吾)
- 15:45 休憩
- 16:00 招待講演③：医学応用を目指した遺伝子改変ブタの作出 (谷原史倫)
- 16:40 招待講演④：動物用バイオ医薬品の世界の現状とその開発について (津久井利広)
- 17:05 休憩
- 17:20 基調講演①：犬のIgE研究から始まったヒトのアレルギー根治用抗体医薬研究：
獣医学と医学の研究融合の例 (増田健一)
- 18:20 閉会挨拶 (上西研)
- 18:30 閉会

主催



山口大学

後援



参加申し込みは
こちらから



細胞デザイン医科学研究所



医学と獣医学の融合が拓く、 ヒトと動物の健康

S P E A K E R



菊水 健史
(麻布大学)

東京大学獣医学科卒、麻布大学教授。
オキシトシンによる動物の感情表現やヒト
とイヌの絆形成メカニズムを解明した行動
神経科学の第一人者。



宮脇 慎吾
(岐阜大学)

岐阜大学・獣医外科学研究室所属。獣医として
の視点と経験を活かし、「ホールインワンは難し
くても、ホームランを打ちたい」と挑戦を続け
る、“面白いこと”が大好きな研究者。



谷原 史倫
(徳島大学)

山口大学卒、徳島大学バイオイノベーション
研究所所属。動物繁殖学・生殖工学を専
門に、医学研究に役立つ遺伝子改変ブタの
作出に挑む。



津久井 利広
(日本全薬工業(株))

1997年ゼノアック入社以来、カイコーバキュロウイルス系を
用いたバイオ医薬品開発に従事。世界初の犬用抗体薬のグロ
ーバル承認を目指し、水野教授との共同研究を推進中。



増田 健一
(動物アレルギー検査(株))

動物病院勤務を経て、米国イリノイ大学、理化学研究所などで
実績を重ね、動物アレルギー・感染症ワクチン開発の分野を
牽引。理研ベンチャーの代表も務める。

参加申し込みフォーム

申込期限：2025年9月30日(火)

QRコードを読み取り、必要事項を記入ください。
申し込みがなくても、当日の現地参加OK！

※現地参加は先着100名様、オンライン参加は先着300名様までの定員となりますので、ご注意ください。
※オンラインでの参加希望の方は、前日までに視聴可能URLをメールにてご案内します。



日時

2025年 **10月3日(金)**
14:00~18:30 (13:30 受付開始)

場所

かめ福オンプレイス

山口市湯田温泉 4丁目5-2



【鉄道をご利用の方】
山口線をご利用の方は湯田温泉駅から徒歩10分
新幹線新山口駅からタクシーで20分

【バスをご利用の方】
湯田温泉停留所より徒歩3分

【お車をご利用の方】
駐車場は隣接（徒歩1分）の湯田パーキングもご利用いただけます
※湯田パーキングは北側・南側と入口が2箇所ございます
※収容430台
※会議・宴会をご利用の方は4時間まで無料
それ以降は3時間ごとに100円です（駐車チケットを受付までお持ちください）

【お問い合わせ】

山口大学細胞デザイン医科学研究所事務局

☎ 0836-85-3065

sh088@yamaguchi-u.ac.jp